





地方凡成錄附錄



見繪圖引方等

門 73  
號 6628  
卷 20

早稻田大學圖書館  
昭 28.2.23 庚  
藏 書























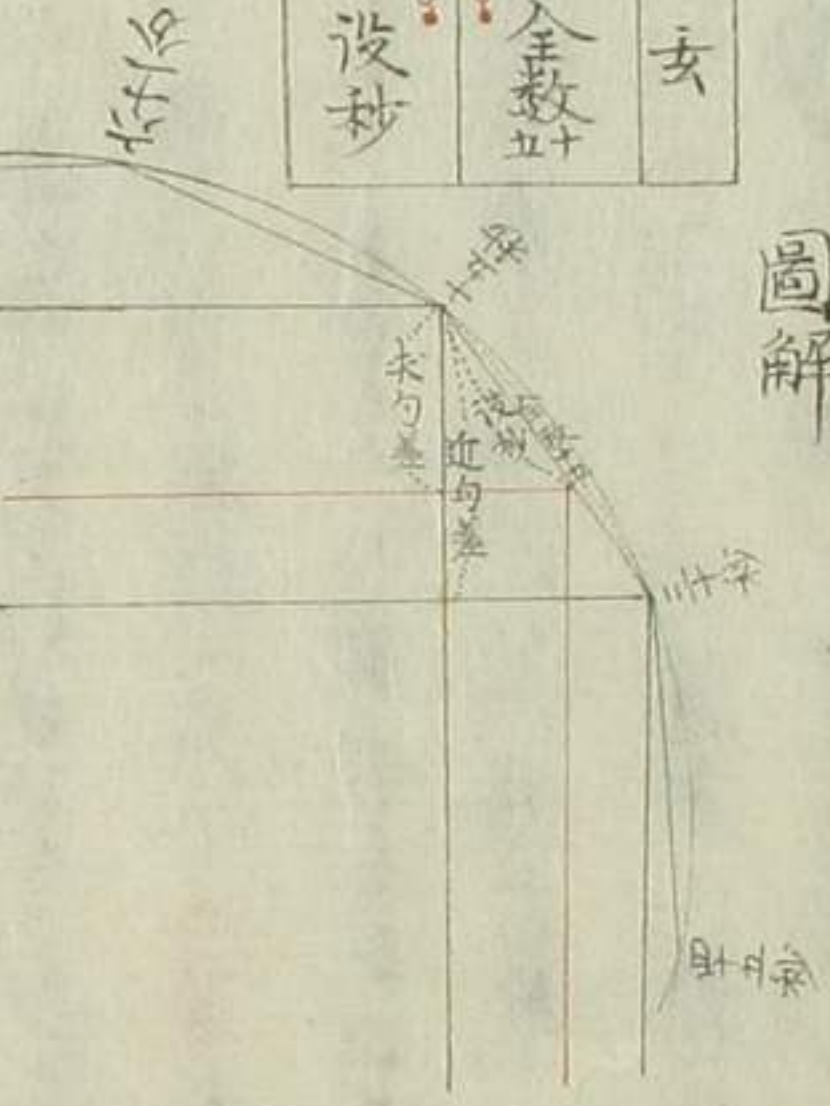




剛教の角の長は三〇六四と得且多長逆教の内なる  
長を減じて中分初の内長と得ん

比例式

勾	勾	勾
比	比	比
式	式	式
例	例	例
比	比	比
式	式	式
例	例	例



比附或は倍て勾逆の比は初の中分合教より  
別より初分の比は長逆の比は初の中分合教  
より別より長逆の比は初の中分合教

假設初の内勾三三三三二内長九三三六九二  
去中分初と得ん

表中西近数	二十一	分	二十八	秒
①	一五	〇	三六	二四
②	〇	三六	二四	〇九
③	〇	三六	二四	〇九
④	〇	三六	二四	〇九
⑤	〇	三六	二四	〇九
⑥	〇	三六	二四	〇九
⑦	〇	三六	二四	〇九
⑧	〇	三六	二四	〇九
⑨	〇	三六	二四	〇九
⑩	〇	三六	二四	〇九

右初得る角の内分は出く且初長教の内長より  
且多長教の表の中分は順度下分二十秒四十分  
内長は初得る角の長を各分初と得ん  
角の九八三三長の内三三八各用して右分初と順度二  
十分三十秒の両近教勾長多分初減て得る勾  
逆教の内四〇六長逆教長二五九各して〇全教  
二十五と内勾長甲と丙と分初勾逆教長と  
して得て除丁初の内初の長三と得て十分二十  
分初の内初と本分初と得る〇又長分初と丙と  
分初長逆教の長と分初と除丁初の内初の長と  
得る事勾の初

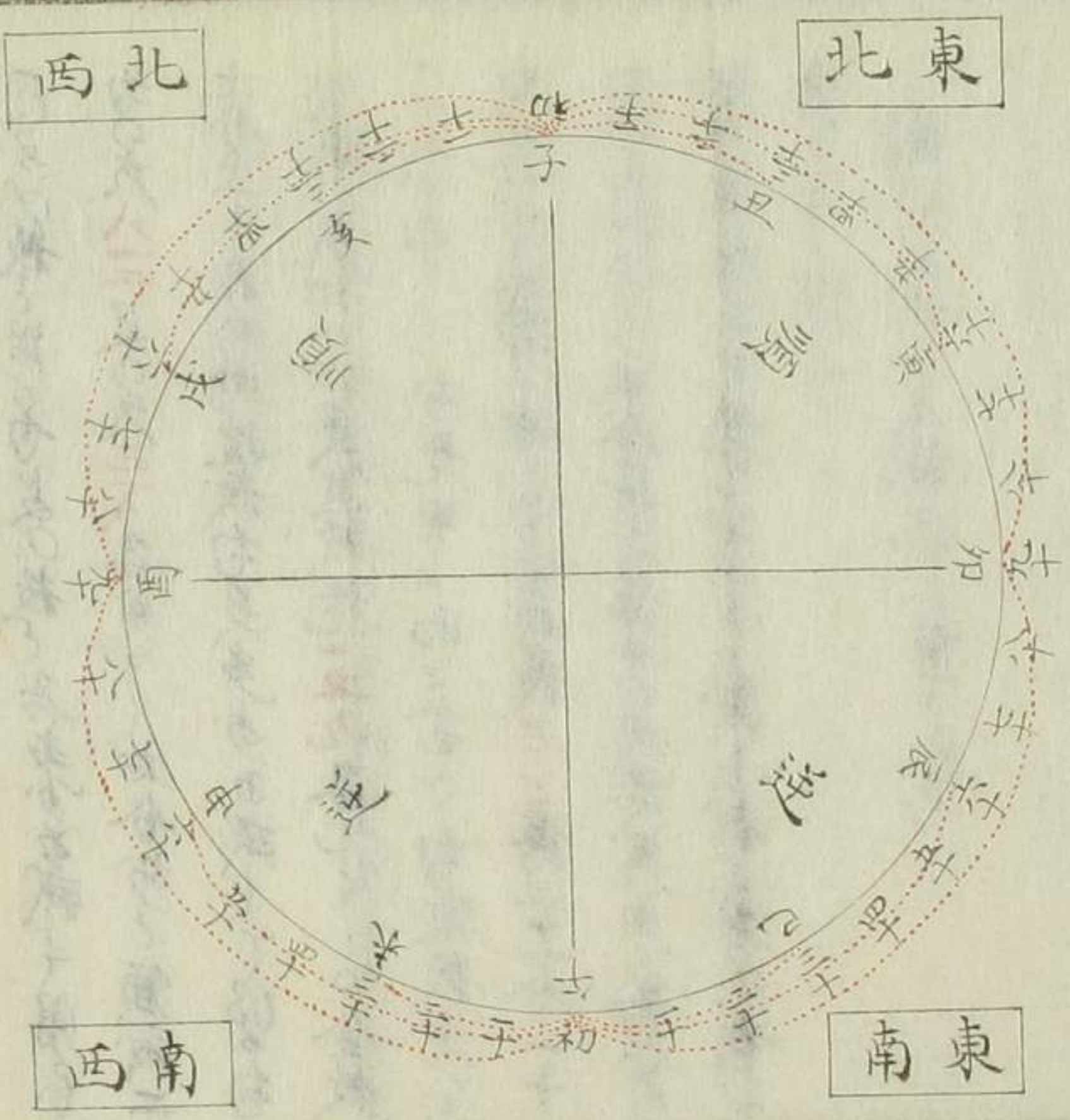
圖解比例の式前条より得る

羅針盤四象限各子午の正線と初分  
本分ト方位ト順逆ト分ト解  
所見初ト目的初の正と内又角の地見と角  
通ト分初ト正ト分初ト正ト分初ト正ト分初ト正  
又分初ト正ト分初ト正ト分初ト正ト分初ト正



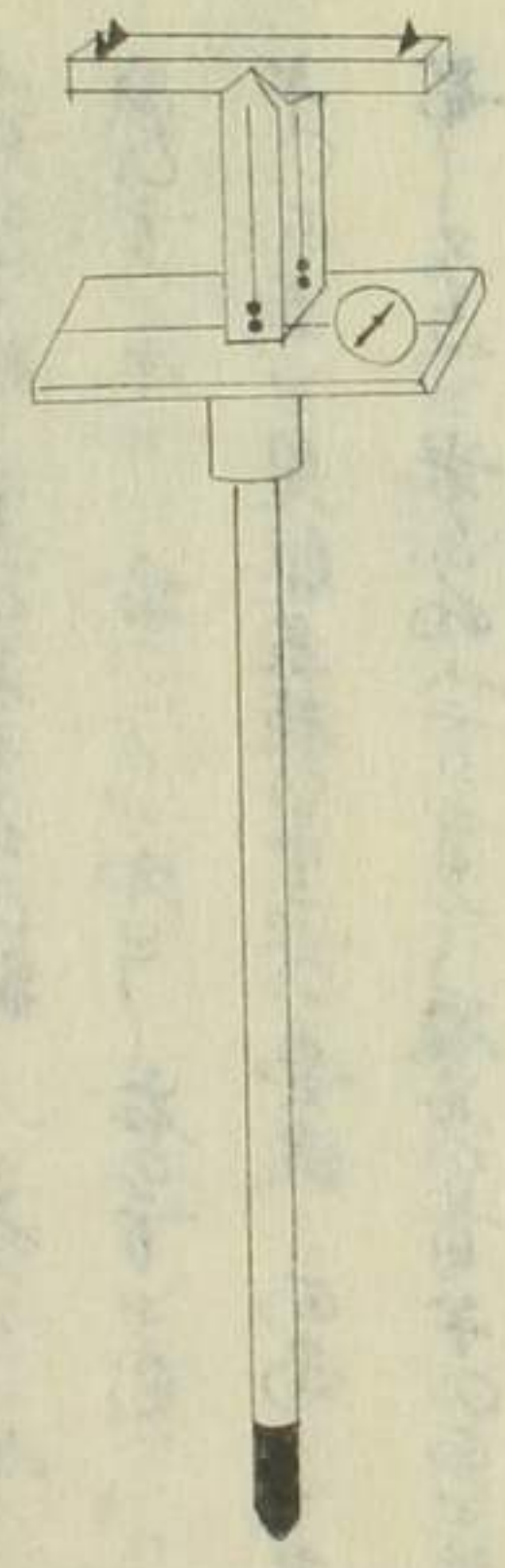
由子子の正しく曲のつたまに正なる量を用ひて  
 且疏度法と云

子の 設る所の 分敷 剛本分	丑の 設る所の 分敷 三十分 て本分	寅の 設る所の 分敷 六十分 て本分	卯の 設る所の 分敷 九十分 て本分	辰の 設る所の 分敷 六十分 て本分	巳の 設る所の 分敷 三十分 内減 て本分
-------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------



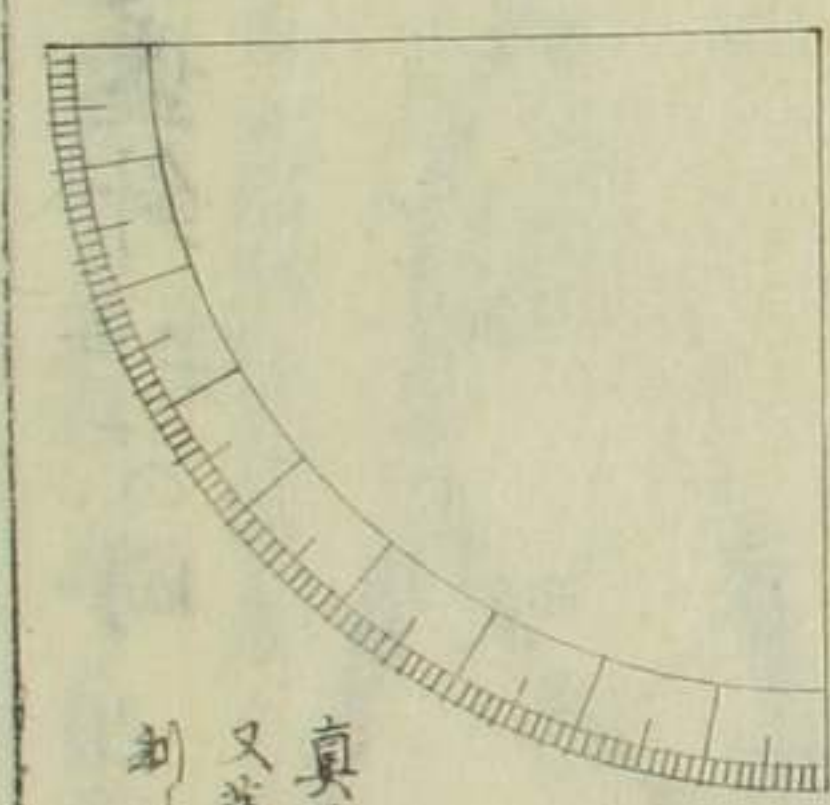
酉の 設る所の 分敷 六十分 内減 て本分	戌の 設る所の 分敷 六十分 内減 て本分	亥の 設る所の 分敷 六十分 内減 て本分	子の 設る所の 分敷 六十分 内減 て本分	丑の 設る所の 分敷 三十分 内減 て本分	寅の 設る所の 分敷 六十分 内減 て本分
--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

見盤の全圖



橋也製盤の邊と云く建支の銀汗と平安と云の  
 二方と御用と云の既と云く道と成格と云  
 見盤の板門およびわたりと書と作所と云  
 的と観える也棒の右端と地と對して棒の頭  
 盤の竹筒と云く盤の自由と運流と云く等  
 りて既の既と云く既の既と云く既の既と云く  
 盤で用へて既と云く

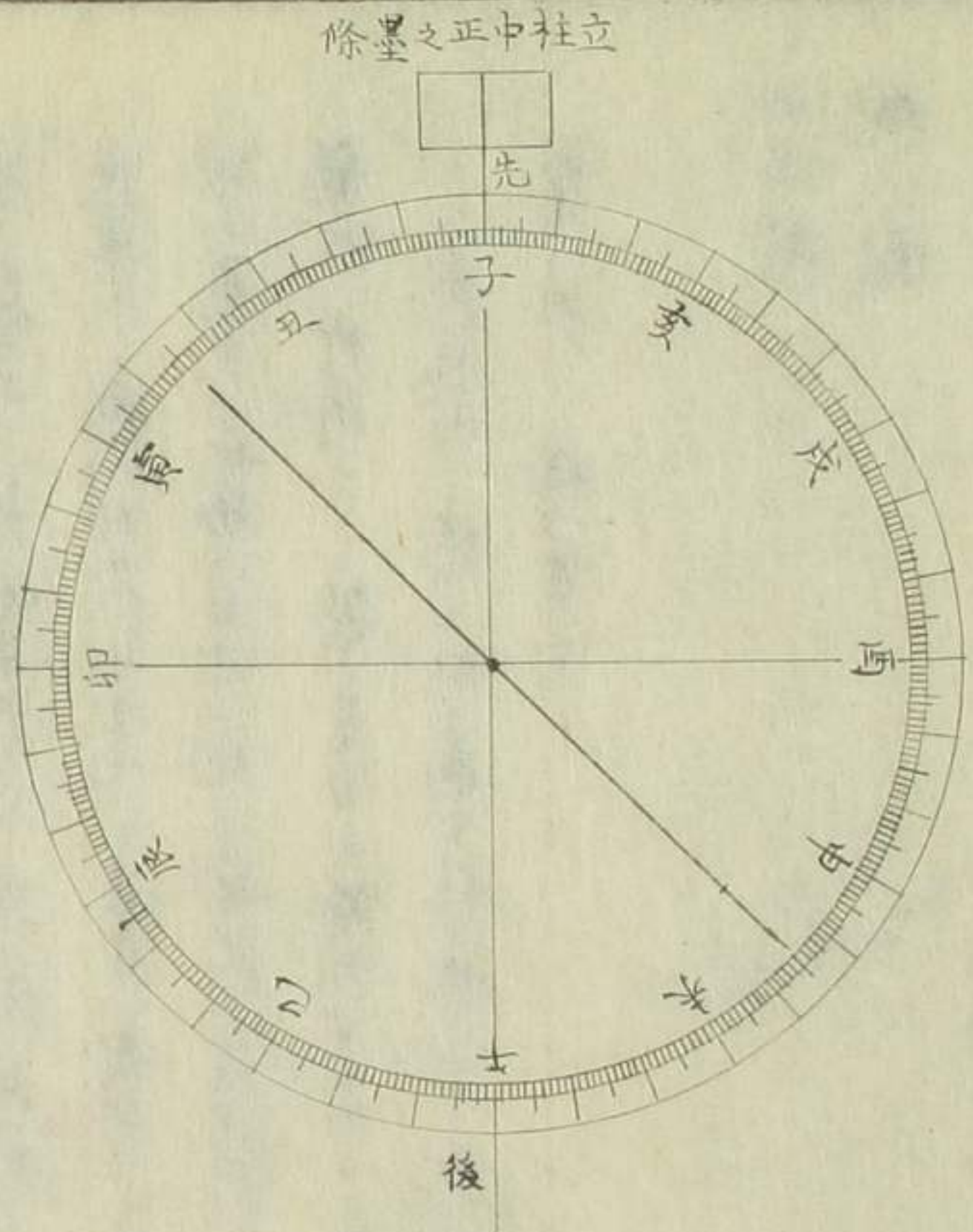
四半圓  
規の圖



真鍮而制す  
 又薄板桐合紙  
 用

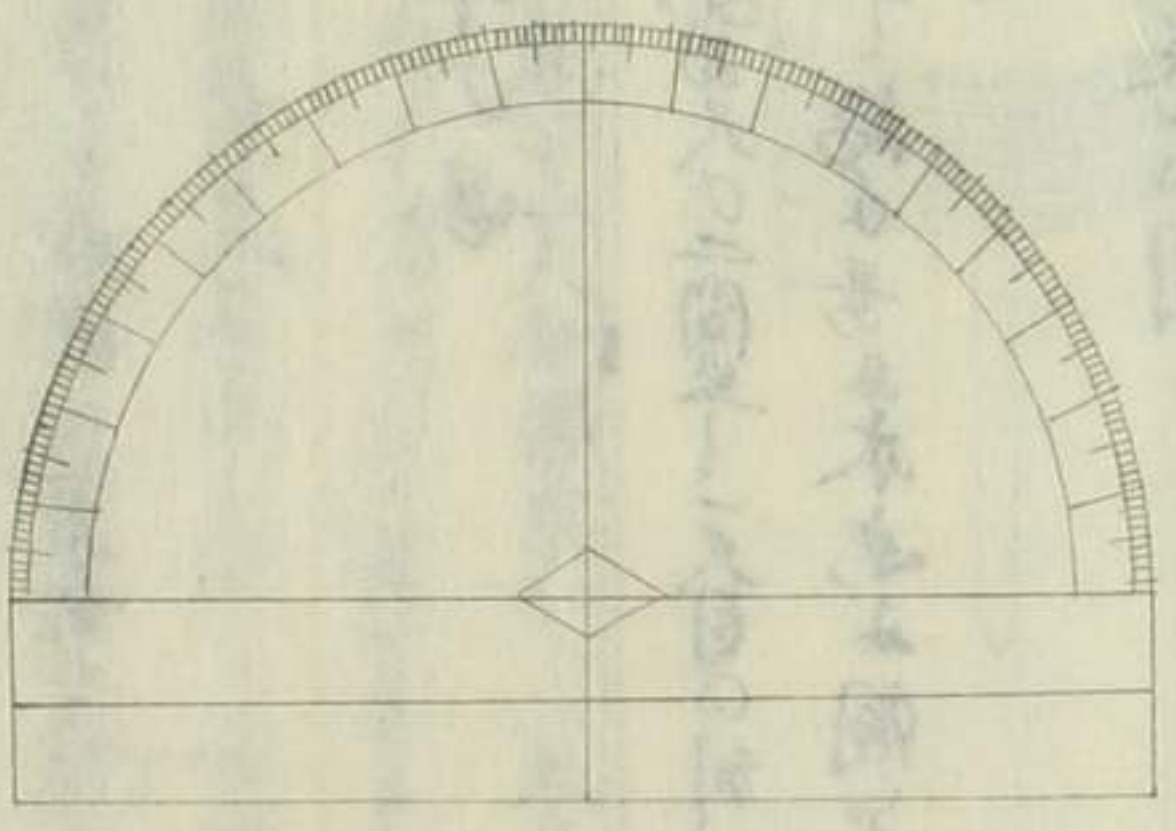


逆支盤針 俗云 磁石の圖



逆支盤針の海の如く右旋は十二支と宛當一圓周  
三百六十刻と一支のる半分の刻と先の方と  
後の方と半と右の方と左の方と右の方と左の方  
半の向角と見懸る柱の中正の善傑は向角と半  
角と半の半の向角と半の善傑の首半の向角と  
半の向角と半の向角と半の向角と半の向角と半  
の向角と半の向角と半の向角と半の向角と半の

半圓分度規の圖



半圓の分度規の善傑は用る數也糊合紙にて  
圓を半分の刻と中心の向角の如く善傑は數  
半角を半と半の向角と半の向角と半の向角と  
半分の刻と用る半角と半角と半角と半角と  
用る

圓規の圖

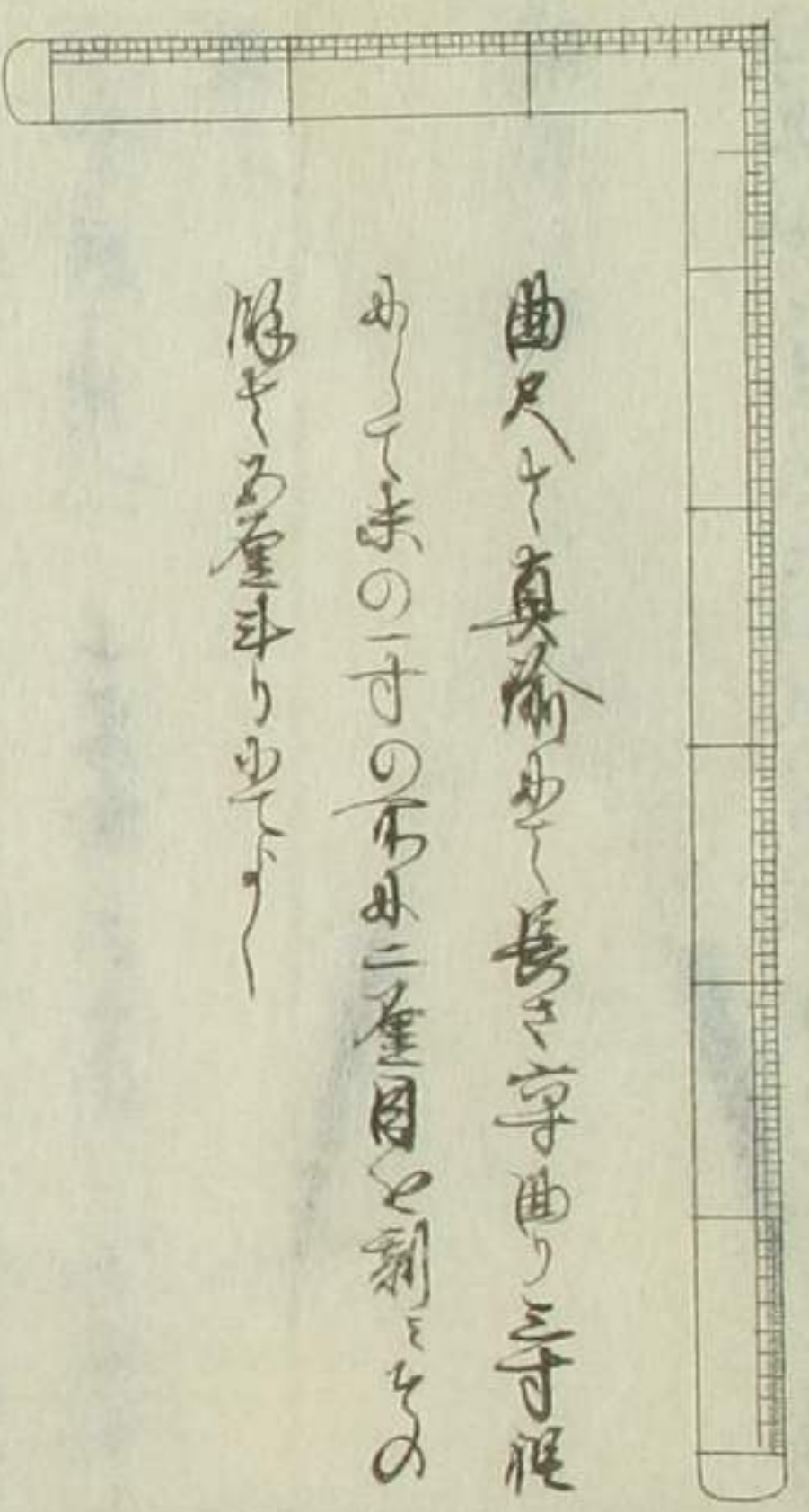


圓規の善傑は用る圓規の用處は度と半分の向角  
と半角と半の向角と半の向角と半の向角と半の



曲尺の箱圖

曲尺を真流に長き字曲り三寸程  
めし末の二寸のちを二重目と刻しその  
隙を重なり申す

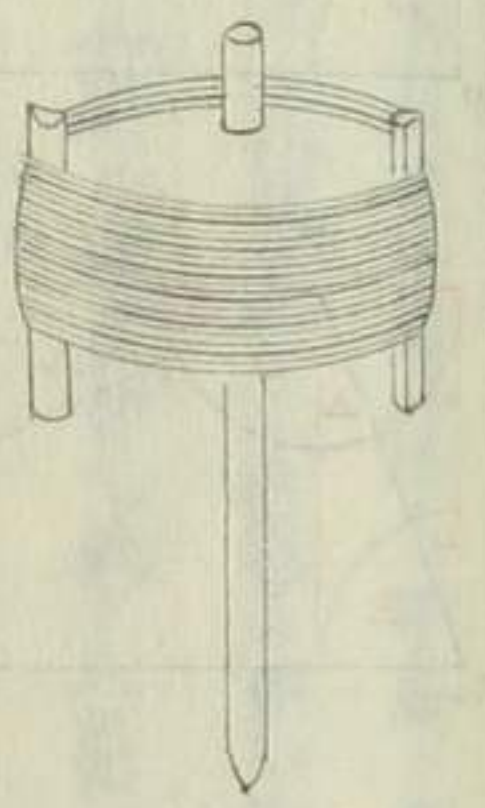


- 一 定規の橋めて長三尺申す用ふ
- 一 圓の付用する計は御丹めて柳の白着とある板は  
如く計の板をすげし申す用言ふて其外是の  
用する申す用言ふ

間竿の具

間竿の長き曲尺の二箇竿に二尺目の刻をつけ二箇の  
の棒竿めして棒は赤木末は洞とて是て用  
ふ

水繩巻の圖



水繩は木の麻を天和漆索やの太きて固く  
筒の二針めてははして長十寸ある程めて  
一箇めよむられぬ要致は海へ書附とては繩を  
捲て用ふ也 此余り長き針の繩ありのひ  
ちをめてめしめしを鬼打りなぐりの巻解し後  
なるされ也 此は蓋蓋の厚ありて二日の内を  
蓋蓋の厚めて改め書附のれと書置すとて  
墨敷と書置との事也 料藤と書置て用ふ  
此の如く蓋蓋の厚をさしめし

端尺杖の具



端尺と書する杖のちをわくの竹と長三尺あり刻  
やくて刻と付用ふは二款三款四款五款  
尺と用ふる付は六の杖めて別弁零也



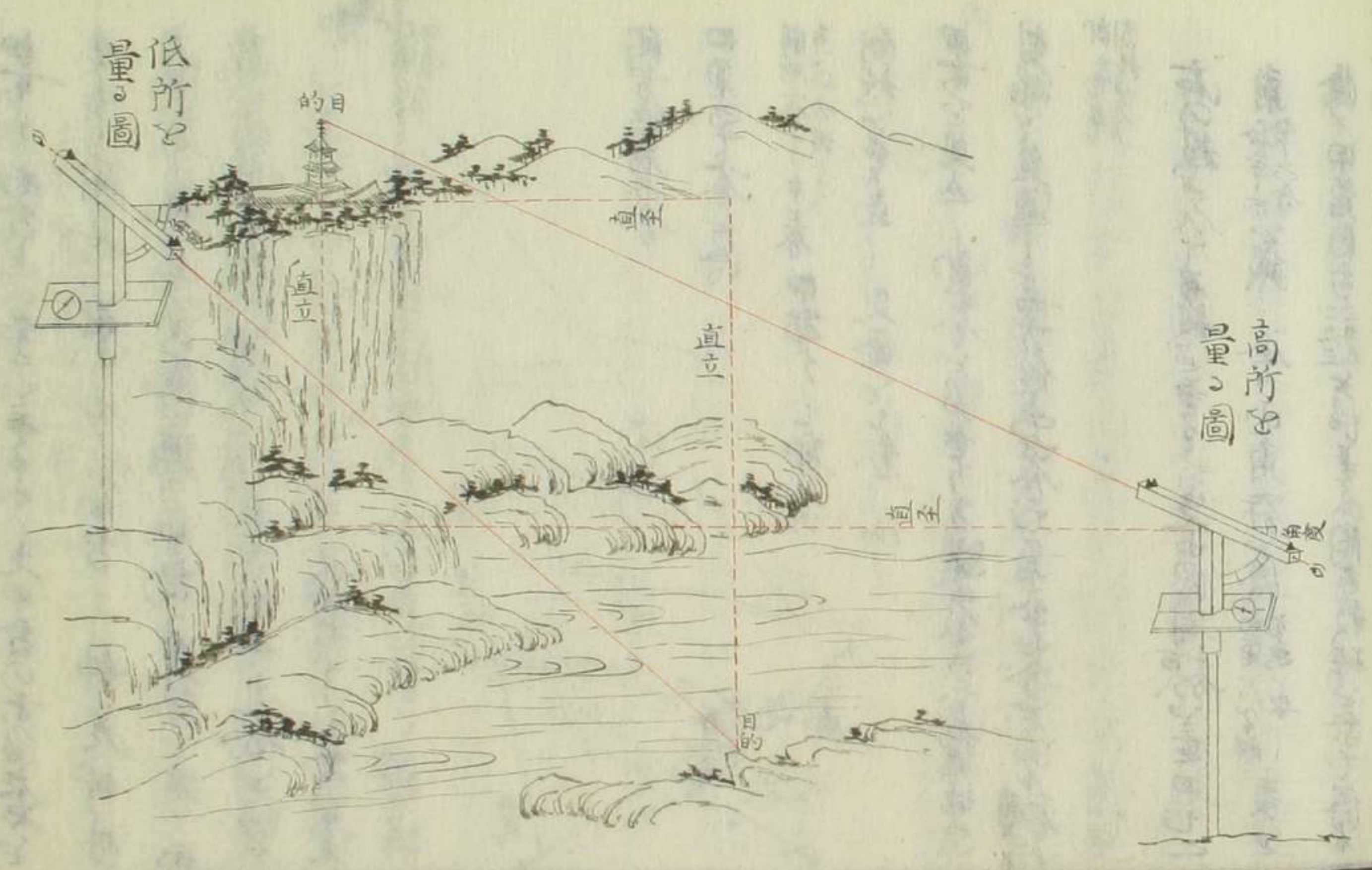




用也。見方一圓板を置く。同の地の盤を移して中  
 座を見方一圓板を運放して目的を再見す。用  
 也。用方一圓板も同様なり。

このとき、見る方の見通水の点を仰て目的を眺視  
 したる時、其の見通水の上端を、その水の中心  
 線の中心と見方附る所の見通水と為す。上の  
 方の高程の角を、見る方の見通水の  
 先と仰て、目的を眺視したる時、見通水は、先  
 と為す。此の中心線の中心と見方附る所の見通  
 水の上端と、上の方の高程の角を、見る見通  
 水の中心と交するなり。

見通見通の仕敷は、見る方の見通水の  
 先と仰て、目的を眺視したる時、見通水は、先  
 と為す。此の中心線の中心と見方附る所の見通  
 水の上端と、上の方の高程の角を、見る見通  
 水の中心と交するなり。



低所と  
 量。圖

高所と  
 量。圖











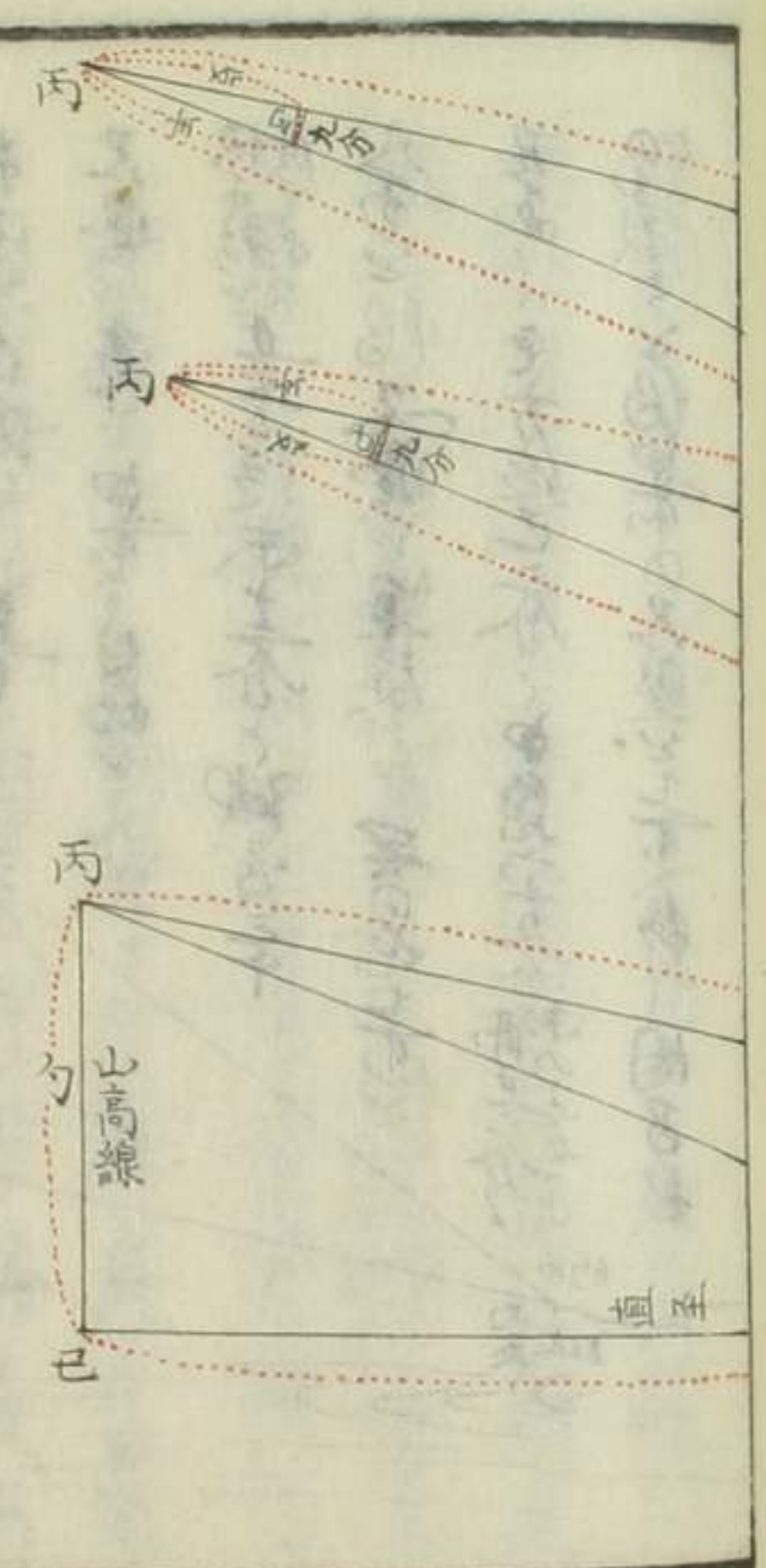
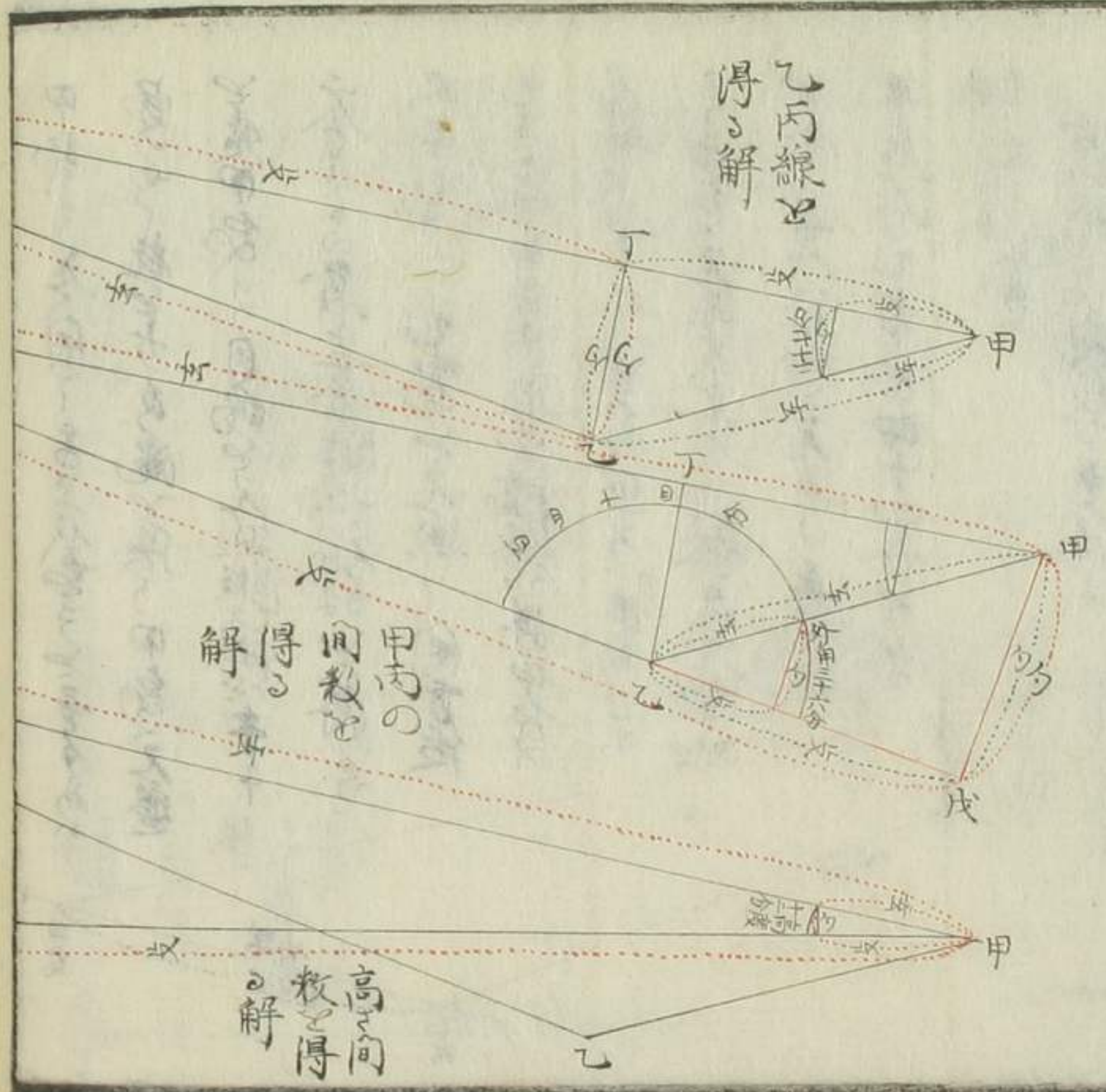








得る角丙角内方六五とて除七事より丙角との  
 教百とある八七七とて除下事より得る乙外角内方  
 〇五八(同角教碑とて得る教乙丙内方六五除甲  
 丙より丙角とて同教百の十番五分〇とて得る  
 高角十分の内方〇二〇とて得る同角教三十三番  
 二分四九と得る



乙丙線と得る解とて比例式とて得る

甲丙	乙丙	乙丁	丙丁
一ケ	一ケ	一ケ	一ケ

是とて変へて

甲丙	乙丙	乙丁	丙丁
一ケ	一ケ	一ケ	一ケ

比例とて甲角内方(同角教とて)乙丁線と得る  
 乙丁線と丙角内方とて除し丙の角と得る

甲丙の同角と得る解とて比例式とて得る

甲丙	乙丙	乙丁	丙丁
一ケ	一ケ	一ケ	一ケ

是とて変へて

甲丙	乙丙	乙丁	丙丁
一ケ	一ケ	一ケ	一ケ

比例とて乙角内方(同角教とて)甲丙線と得る  
 甲丙線と丙角内方とて除し甲の角と得る



高さ同敷と得る圖解の後で比例尺と得る

勾	乙
寸	丁
高線	甲丙

比例の後で甲丙の同敷、甲角丙  
勾と得てその同敷と得る



上山の甲丙  
村屋の  
谷の  
河川の  
山頂  
山麓  
山腹  
山背  
山脊  
山脚  
山腰

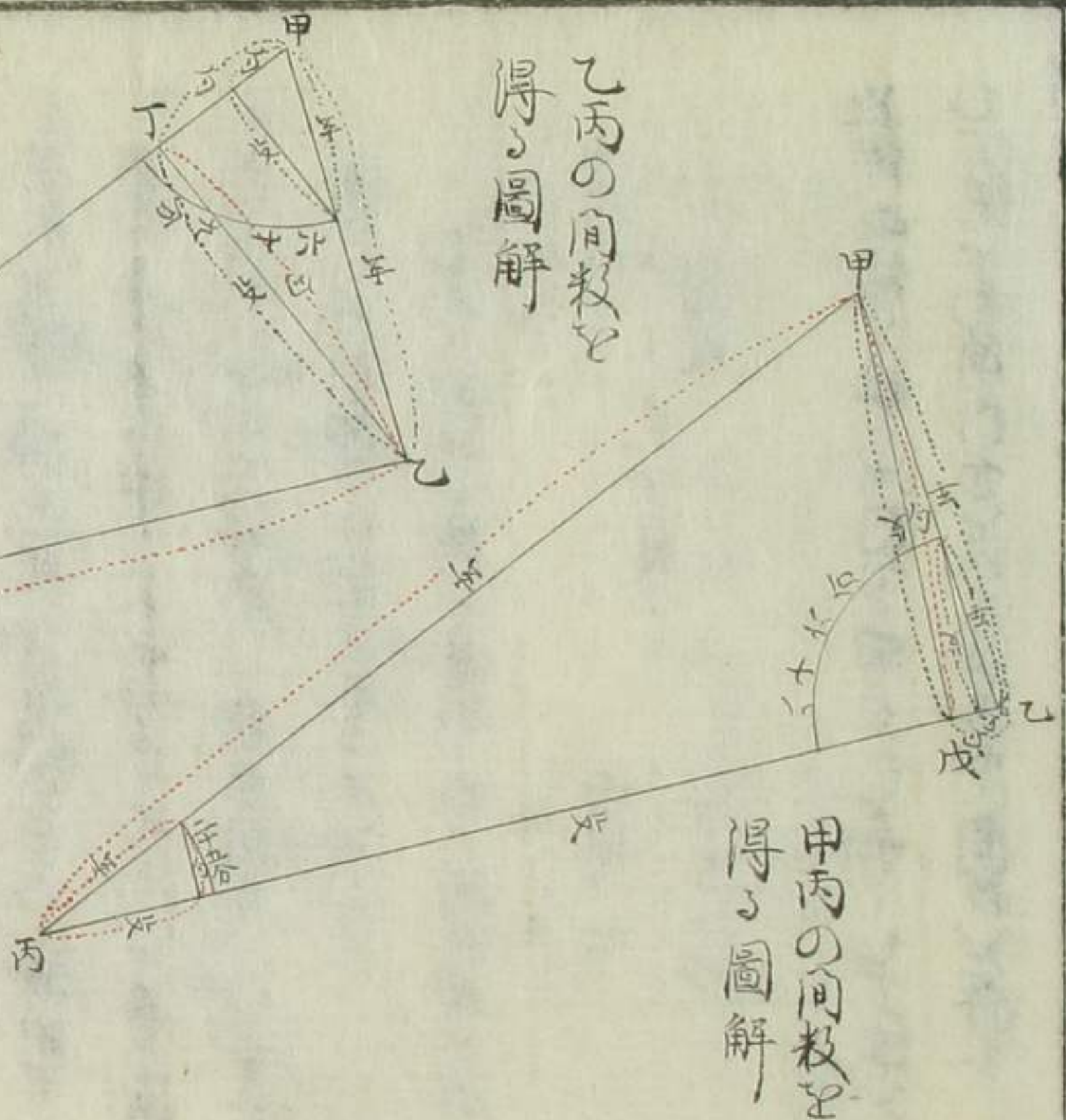
比例の後で甲丙の同敷と得る  
乙丁線と丙角丙の方を以て除して丙の同敷と得る

乙	丙
丁	丙
同敷	同敷

乙	丙
丁	丙
同敷	同敷



乙丙の同教を得る圖解



甲丙の同教を得る圖解

易解の條に比例式を添へ

乙丙	乙丙
甲乙	甲乙

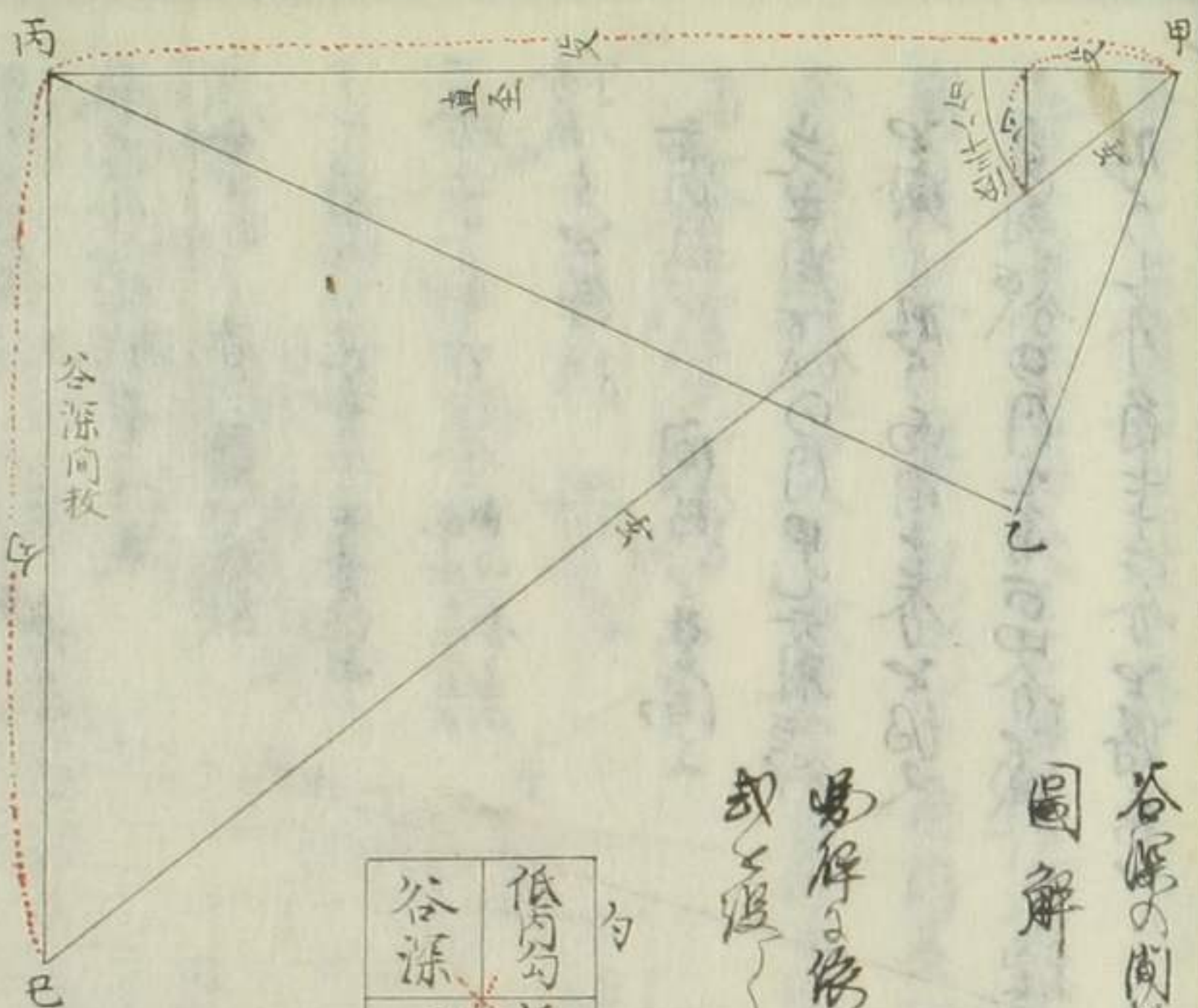
比例の條に乙丙の同教を得る  
 乙丙の同教を得る  
 乙丙の同教を得る  
 乙丙の同教を得る

谷深の同教を得る

圖解

易解の條に比例式を添へ

谷深	谷深
甲丙	甲丙



比例の條に乙丙の同教を得る  
 乙丙の同教を得る  
 乙丙の同教を得る

左邊の如く甲丙の同教を得る  
 左邊の如く甲丙の同教を得る  
 左邊の如く甲丙の同教を得る









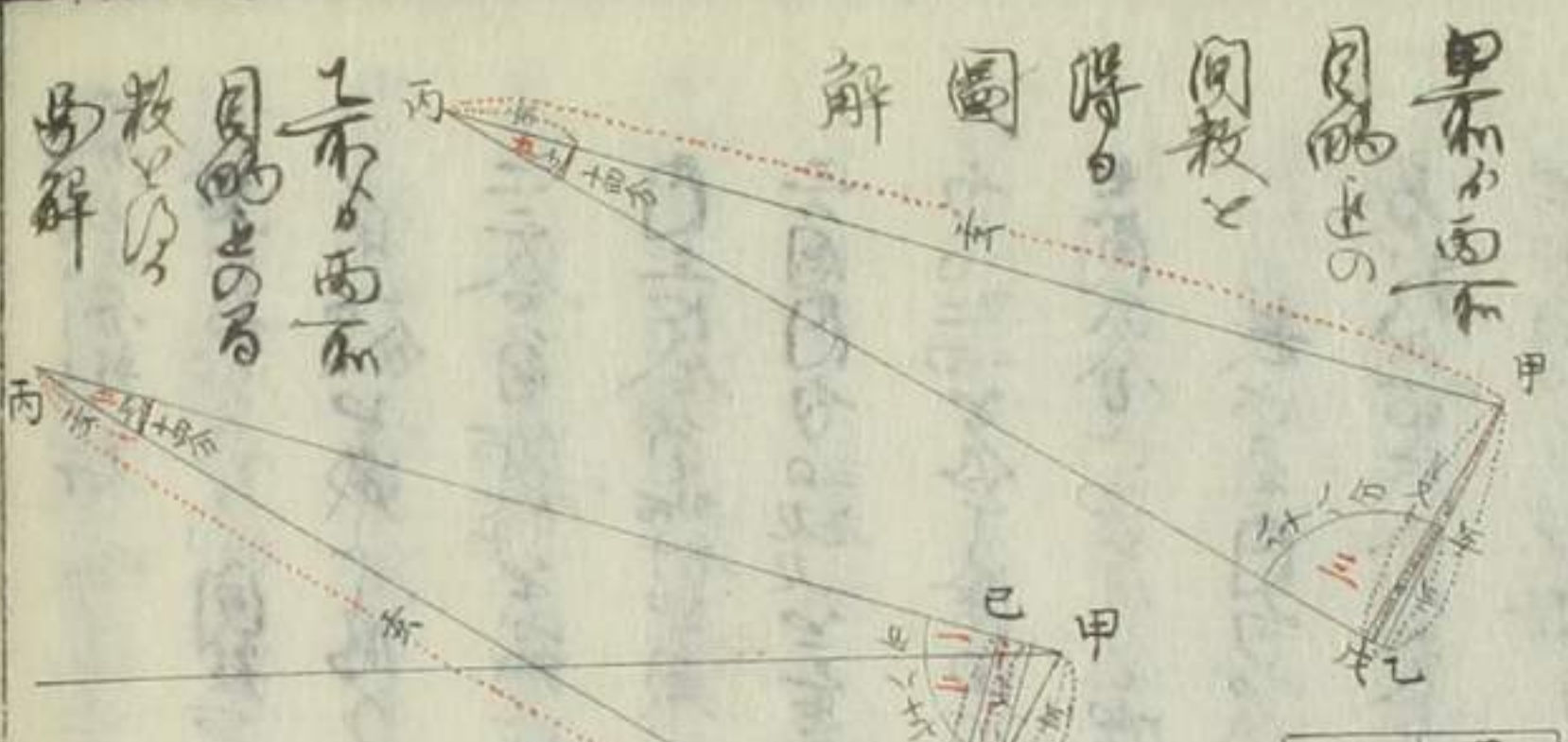


義下取り丁子線三端平並しはるを丙子線四端七  
 以て除八角外白端七と海表と接するの表中の  
 後丁中比例法を用て中比例法八角七十九分三十一  
 秒。五微と海表の積を中比例法を用ひて  
 八角内白の三三三と比ひて丁子線五十五分五  
 目的丁子線の正表の同教三九分八分二分  
 五五と比ふ

圖解より比例式と得る

三丙	一丁	五丙	一丁
甲戊	甲乙	甲戊	甲丙

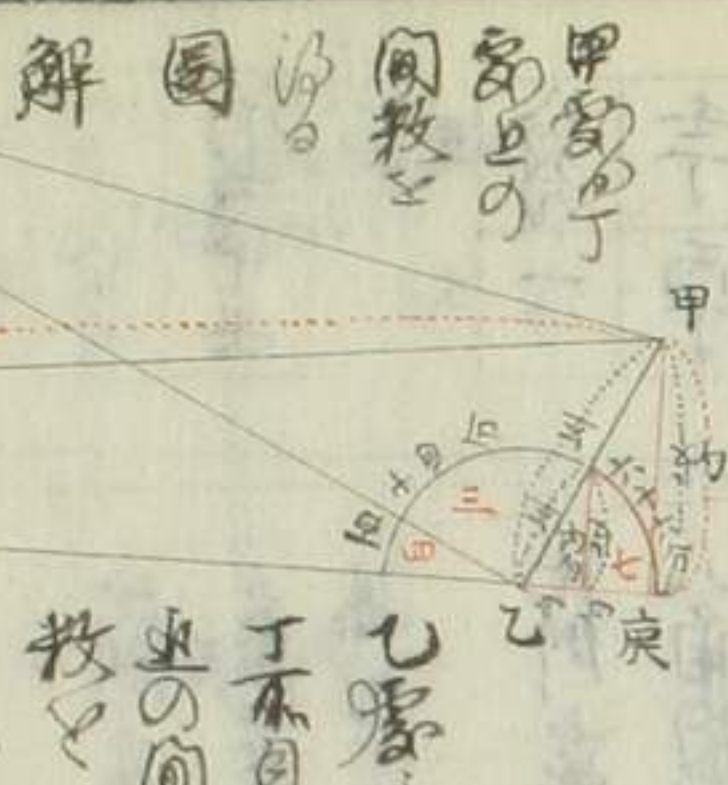
比例の後丁三角の内白と重甲  
 乙の教と立て甲戊線と比ひ  
 甲戊線と八角の内白  
 と立て除甲丙と比ひ



一丙	一丁	五丙	一丁
乙巳	甲乙	乙巳	乙丙

圖解より比例式と得る

比例の後丁三角の内白(用)と重甲  
 乙の教と立て除甲丙と比ひ



二丙	一丁	乙辛	甲乙
----	----	----	----

六丙	一丁	乙辛	乙丁
----	----	----	----

七丙	一丁	甲庚	甲乙
六丙	一丁	甲庚	甲丁

比例の後丁三丙  
 白と重甲丙の教  
 と立て甲庚線  
 と比ひ甲庚線  
 と八角の内白と  
 除甲丙より丁  
 知上の同教と  
 得る

比例の後丁二丙  
 白と重甲丙の教  
 と立て乙辛線  
 と比ひ乙辛線  
 と八角の内白  
 と除甲丙より  
 丁知その同  
 教と得る















東寺の松有りと鶴天の度と合を守進て定ると其  
 不々圓の松天と傳して二番の角と之の松の枝十二  
 間と合をて十二間と一番の角と見懸と送り初番をえ  
 ぬと成五分と送務と送るはさきと知し法懸と運送  
 して二番の松天と見懸と一番の角と合をて其の  
 して初番の松有りと鶴天の度と合を守進て定ると其  
 不々圓の松天と傳して二番の角と之の松の枝十二  
 間と合をて十二間と一番の角と見懸と送り初番をえ  
 ぬと成五分と送務と送るはさきと知し法懸と運送  
 して二番の松天と見懸と一番の角と合をて其の

初番  
 一 長松四間 本三十九分 辰廿二分

東又間五分六厘五毛六六  
 南十間八分二厘二毛六八

外繫松 巳十五分  
 内繫松 卯二分

一 番  
 長松四間 本七十分 辰十二分

東十五間五分七厘二毛六  
 北六間四分八厘九毛四二

二番  
 一 長松四間 本十八分

西二間五分二厘〇七四  
 北十三間六分五厘四毛一

外繫松 未十分  
 一 番  
 長松八間五分 本十分 辰五分

西十八間〇七厘四毛七七  
 北二間八分二厘二毛六六九

外繫松 壬十分  
 内繫松 未二十四分

四番  
 一 長松四間 本三十分 未七分

西八間四分二厘五毛四八〇二  
 南十一間五分八厘〇九六

内繫松 巳正





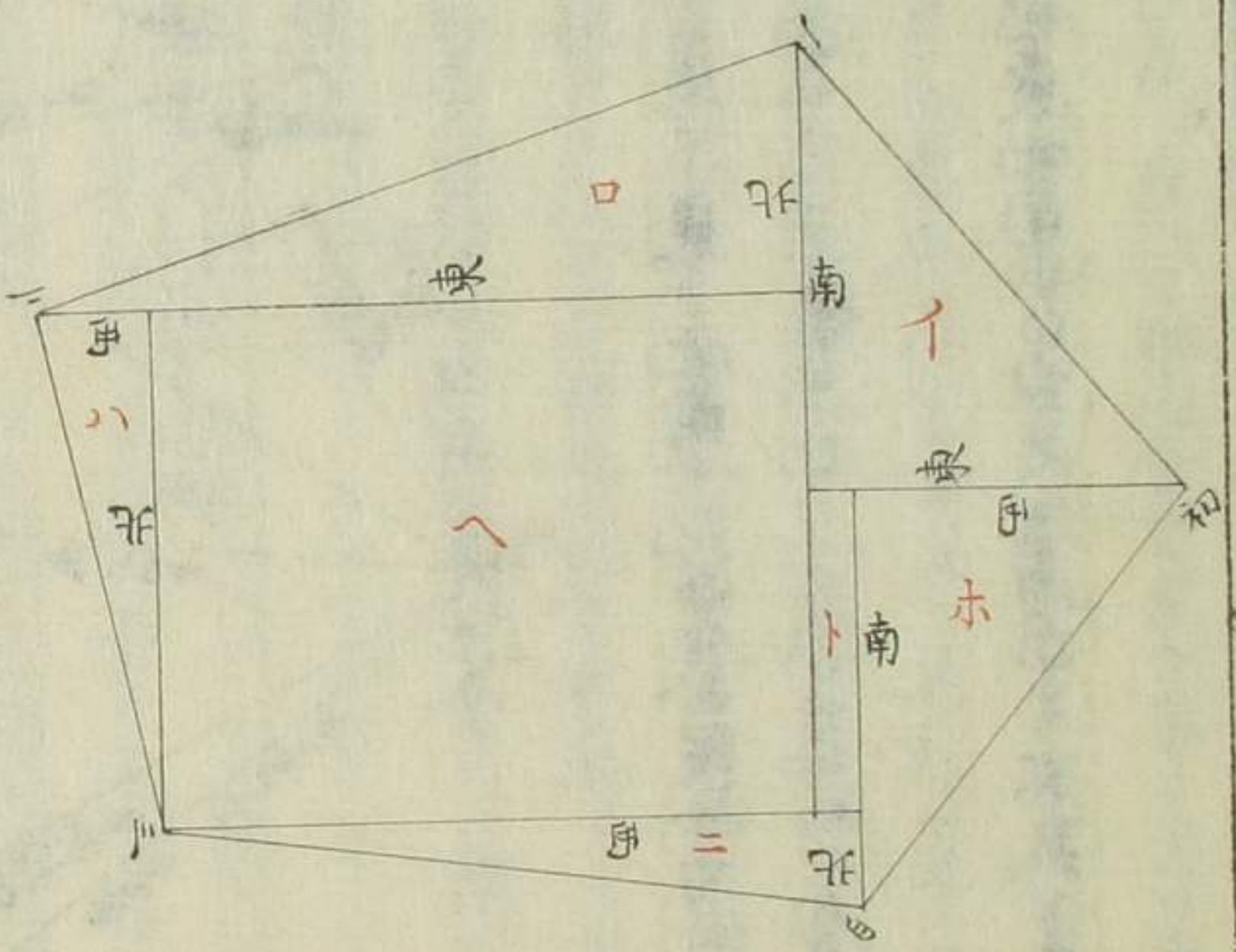












初二辺

東九間五分五十六分  
南二間八分三十八分

東南を築きては

イ 十六歩 四九七九三

二二辺

東十九間九分三十分  
北六間四分九分

東に築きては

ロ 六十四歩 八〇三七九

二三辺

西二間九分七十分  
北十三間六分九分

西に築きては

ハ 十九歩 九二九七

二四辺

西十八間七分三七分  
北二間八分六分

西に築きては

ニ 二十歩 八七〇八九

四福辺

西八間四分五十分  
南二間一分九分

西南に築きては

ホ 四十七歩 一〇二四七

一二辺東の〇二三辺西に築ては 北の二間五分八分

六二三辺北に築ては 北の二間五分八分

ハ 二十歩 八七〇八九

初二辺東の四福辺西に築ては 北の二間五分八分

五九四福辺南の〇三四辺西に築ては 北の二間五分八分

八二九下を築ては 北の二間五分八分

ト 九歩 四九三三

北積長は五歩

築ては 北の二間五分八分

之は築ては 北の二間五分八分  
北積長は五歩  
北の二間五分八分



















十番 一長 百六拾五間 本四十六分三十秒 辰十三分三十秒

東 一寸一分九分六厘六毫六絲

南 一寸一分五分五厘七毫七絲

一長 三拾五間 卯五十分 本四十六分三十秒 辰十三分三十秒

東 二分五分三厘七毫九絲

南 二分四分九厘二毫二絲

東 二寸五分八厘八毫五絲六毫

西 二寸五分五厘二毫二絲

差引 二厘一毫八分六厘四毫 西之

北 二寸一分六厘二毫六絲 西之

差引 九毫一厘九分七毫二六 北之

一長 百四拾間 本十一分 亥十五分

西 二分六厘七毫三絲四毫

一長 五拾間 本三十九分 辰廿一分

東 二分四分六厘六毫

十番 一長 三拾間 本九分 卯正

東 二分

十番 一長 七拾間 本三十分 巳正

東 二分

一長 八拾間 本五十分 申正

西 六分九厘三毫四絲

一長 三十七拾間

東 九分六厘四毫六絲六毫

西 九分六厘九毫五絲八毫

差引 四毫七〇二

南 一寸三分九厘四毫七五六

北 一寸三分七厘四毫二八二 東五 南五

差引 二厘〇二四

十番 一長 百七拾間 本十二分 子十二分

東 二分四分三厘四毫七絲 本十分 亥廿分

一長 百間







差引 一重三 南五

川西田記号  
上書八書  
一長 百七拾間 本五分

十八書  
一長 百間 本七分七厘七  
南五分二七六  
西 二分二四七  
一寸五分八八又  
本五分九分  
辰十分四秒

十九書  
一長 百六拾間 本七分七厘七  
南五分二七六  
西 七分六厘九  
南七分三九二  
本五分  
子正

一長 百六拾間 本五分  
西 七分六厘九  
南七分三九二  
本五分  
未十分九秒

一長 七拾間 本五分  
西 四分八厘九  
南一分八厘四  
本五分  
申十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
西 四分三厘八  
南一分四分三厘七  
本五分  
申十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
西 四分三厘八  
南一分四分三厘七  
本五分  
申十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
東 一分五分六厘四  
南一分四分三厘七  
本五分  
辰十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
東 一分五分六厘四  
南一分四分三厘七  
本五分  
辰十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
東 一分五分六厘四  
南一分四分三厘七  
本五分  
辰十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
東 一分五分六厘四  
南一分四分三厘七  
本五分  
辰十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
東 一分五分六厘四  
南一分四分三厘七  
本五分  
辰十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
東 一分五分六厘四  
南一分四分三厘七  
本五分  
辰十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
東 一分五分六厘四  
南一分四分三厘七  
本五分  
辰十分九秒

一長 百六拾間 本五分  
東 一分五分六厘四  
南一分四分三厘七  
本五分  
辰十分九秒



一長百二拾間

南一十分

東長 百拾間

東 七分五厘七毛〇分三

西 七分七厘二毛〇分

差引 二厘四毛四厘三

南 一十八分五厘八毛七厘〇分

北 一十八分三厘二毛〇分

差引 一毛二厘四厘

南二

層村号

一長百二拾間

南一十分

一長百拾間

西 七分四厘六毛五厘

南 七分三厘二毛

一長七拾間

西 七分八厘八毛二厘

南 一分八厘五毛

一長七拾間

一長七拾間

申正

南二

申正

申正

申正

申正

一長九拾間

申正

東 四分六厘二毛

西 七分七厘四毛三

一長百拾間

申正

東 九分〇厘五毛四厘

東長百八拾間

東 一十四分三厘四毛六

差引 一厘四毛

申正

南 二十一分七厘七毛四厘

差引 一厘七毛九厘

南二

右記帳目にて、右記帳目と引合せ、前記の如く、  
右記帳目と引合せ、前記の如く、







初一の旦 本分〇五八 東に歩くと歩数〇

千二百八十九歩

一二の旦 本分〇五八 東に歩くと歩数〇

百九十九歩

二三の旦 本分〇五八 東に歩くと歩数〇

百七拾九歩

三四の旦 本分〇五八 西一分の旦 西七分七

和して四十分と三日の旦 本分〇五八 四十分と

六の旦 本分〇五八 三和して四十分と歩くと

歩数〇

千七百七十九歩

六七の旦 本分〇五八 西南に歩くと歩数〇

千八百四拾四歩

七八の旦 本分〇五八 西南に歩くと歩数〇

千七百八拾七歩

八九の旦 本分〇五八 西四分和して七分と

九五の旦 本分〇五八 南四分和して七分と

歩くと歩数〇

千二百六十八

十十の旦 本分〇五八 十一和の旦 本分〇五八 和して四分

百四十一の旦 本分〇五八 十一和の旦 本分〇五八 和して

百七拾七歩と歩数〇

五子及音八拾歩

廿南社西の和の旦 本分〇五八 和して四分と

初の旦 本分〇五八 東に歩くと歩数〇

千六百五十九歩

一二の旦 本分〇五八 西四分と歩くと歩数〇

千六百九十九歩

二三の旦 本分〇五八 南四分と社南和の旦 本分〇五八 和して

和の旦 本分〇五八 西四分と西の

和の旦 本分〇五八 東に歩くと歩数〇

千七百七十九歩

八南社南の和の旦 本分〇五八 西七分と和して

歩数〇

千七百七十九歩

六七の旦 本分〇五八 南に歩くと歩数〇











十四の辺長六分五厘南東角を以て歩數を以て  
 子六十歩八分

一十の辺長六分四分五厘南東角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分三厘

十の辺長六分四分西角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分八厘

十の辺長六分四分西角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分三厘

十の辺長六分四分西角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分三厘

十の辺長六分四分西角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分三厘

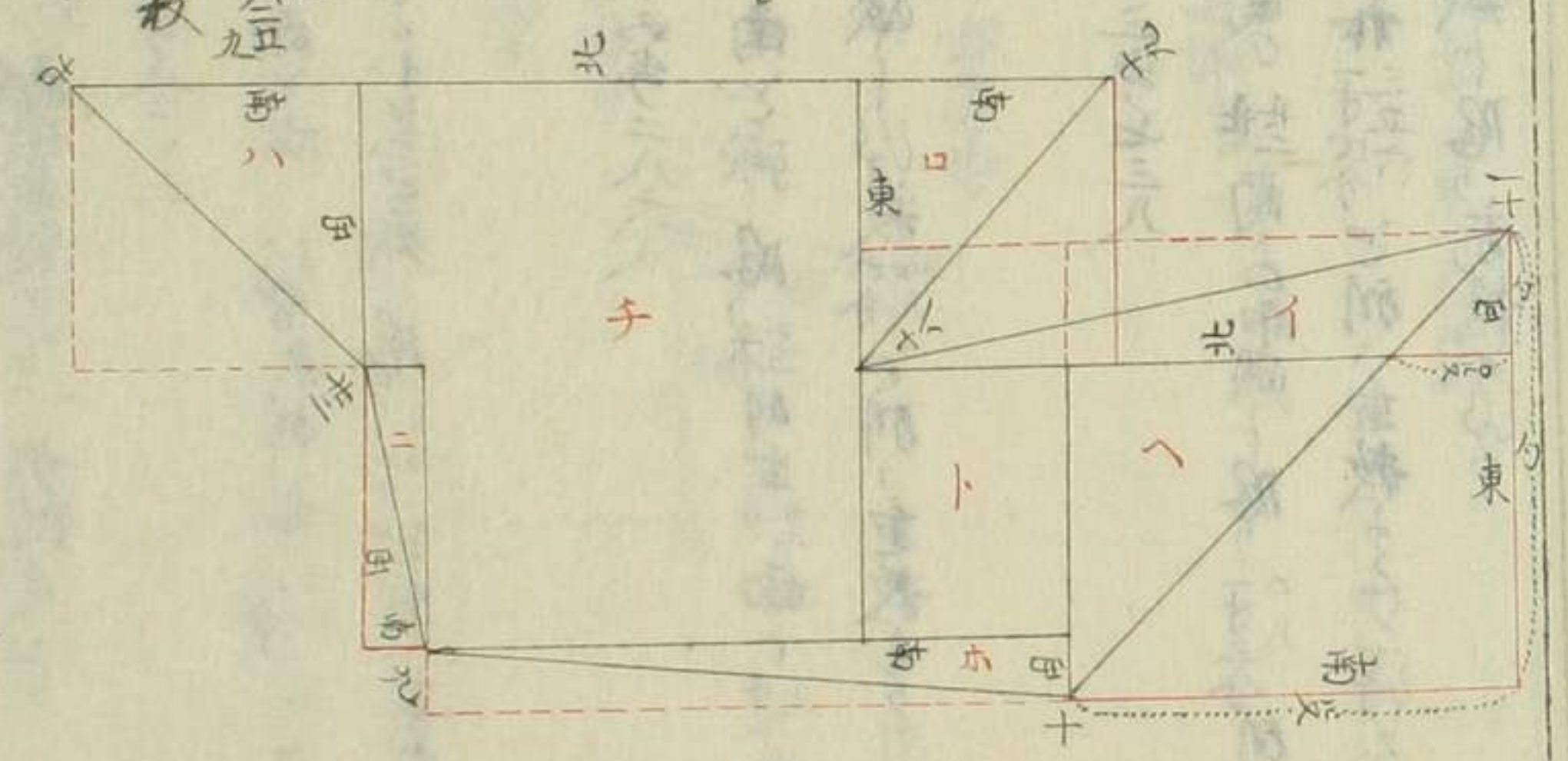
十の辺長六分四分西角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分三厘

十の辺長六分四分西角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分三厘

十の辺長六分四分西角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分三厘

北	比
北東	北南
北西	北東

川西回歩數の図  
 圖解



十の辺長六分四分西角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分三厘

十の辺長六分四分西角を以て歩數を以て  
 子六十歩四分三厘



式子四百七十歩八分六厘

女廿二の辺 西七分五厘七 西南を歩んで歩教なる

式子七百九十歩一分七厘

廿二の辺 西一分八厘九 西南を歩んで歩教なる

式子八百七十五歩一分

廿二の辺 西一分八厘九 西南を歩んで歩教なる

式子八百七十五歩一分

廿二の辺 東の内 北西を減り歩教列 西四分十一

の辺 南の内 北西を減り歩教列 西四分十一

歩教なる

式子二百七十四歩二分八厘

廿二の辺 山の月 北南を減り歩教列 西と九分西

との和の内 北東を減り歩教列 西と九分西

歩教なる

式子四百七十二歩七厘

廿二の辺 山の月 北南の和 減り歩教列 西と九分西

直北と九分西との和 北西を減り歩教列 西と九分西

教の内 歩教を減り歩教なる

式子四百五十三歩二分八厘

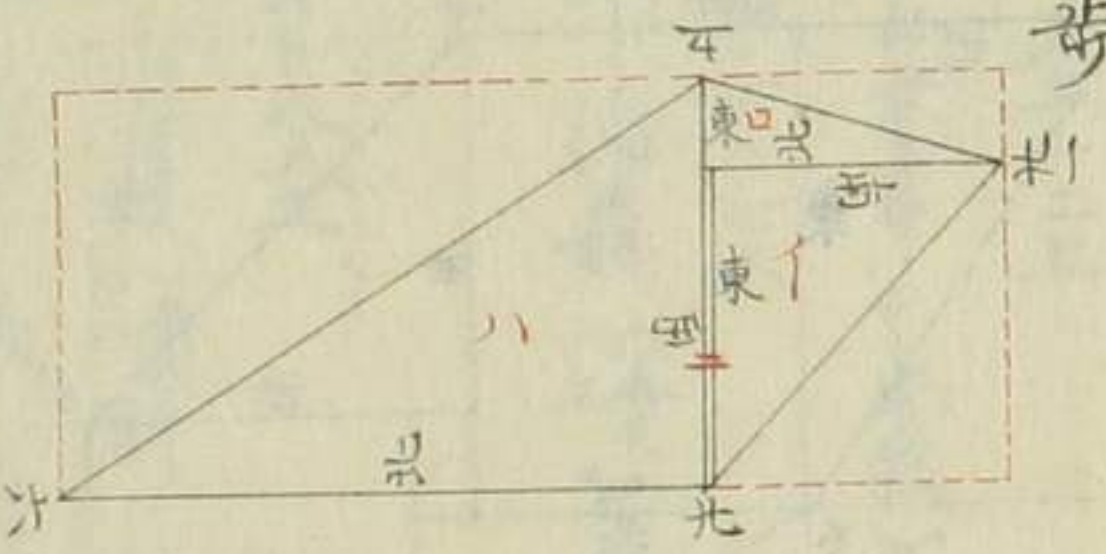
川西岸教

式子三百三十三歩七分

歩教

拾遺町 〇 北 西 七 歩

川西岸教なる



女廿二の辺 東の内 北南を減り歩教なる

式子七百九十六歩二分七厘

女廿二の辺 北一分八厘九 東山を歩んで歩教なる

式子七百七十五歩一分

女廿二の辺 西七分五厘七 西山を歩んで歩教なる

式子五百五十七歩一分



六廿の里南の月江と減り降り二里と重村末六分三  
 二ヶ歩教と得る

八十九歩七〇二四

川小田坪教

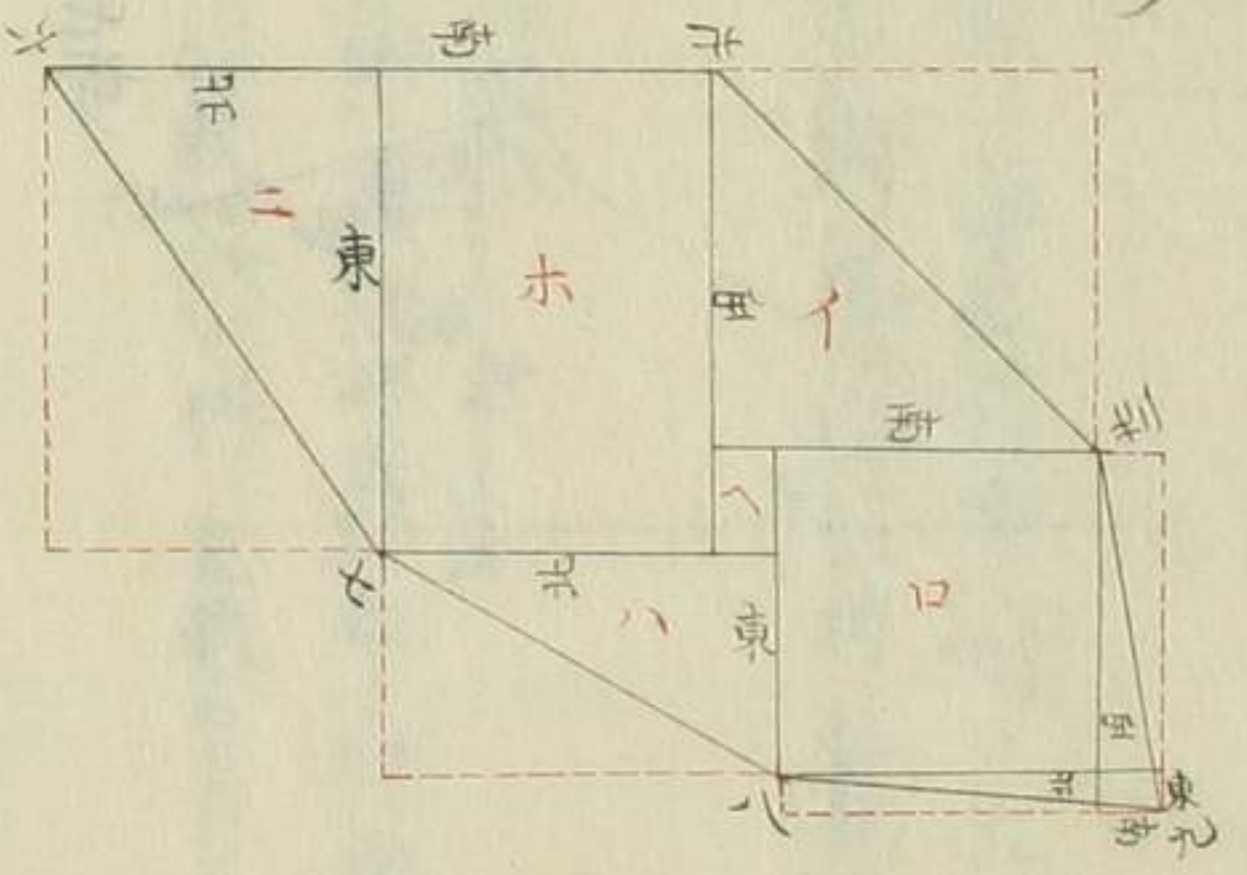
合七子三百三拾〇歩

は及別

却町四又四畝拾歩

君村赤教とる

同解



六廿二の里西七分五厘七  
 西南赤教とる

或又七百零六歩一〇七三

九八の里少九二西と赤得る教別は重村末四百九  
 二の里西八分五厘七赤とるは赤教と別は重村のり減り

甲とある八九の里赤七分五厘七赤とる赤教とる  
 甲のり減り赤教とる

百子〇百〇七歩一七二四

八七の里赤四分三厘八赤とる赤教とる

子七百八十七歩五二二五

七六の里赤五分五厘五赤とる赤教とる

或又八百二十四歩一〇七四

六廿の里南のり減り赤教とる赤教とる  
 赤教とる

或又百三十五歩〇八八五

七六の里東のり減り赤教とる赤教とる赤教とる  
 赤教とる赤教とる赤教とる

百零七歩九二五

居村坪教

合七子八百零七歩

は及別

六廿の里西七分五厘七



坪数五万二千八百八拾歩  
 面積の内訳

あり 七万二千六百六拾歩 川坪也

一又二柳、徳園と三斜の形、ふ分け厘を以て長後の  
 分と、長後を以て各歩数、今、坪と  
 なるたの也

七万二千六百六拾歩

五万二千六百六拾歩

二万二千六百六拾歩

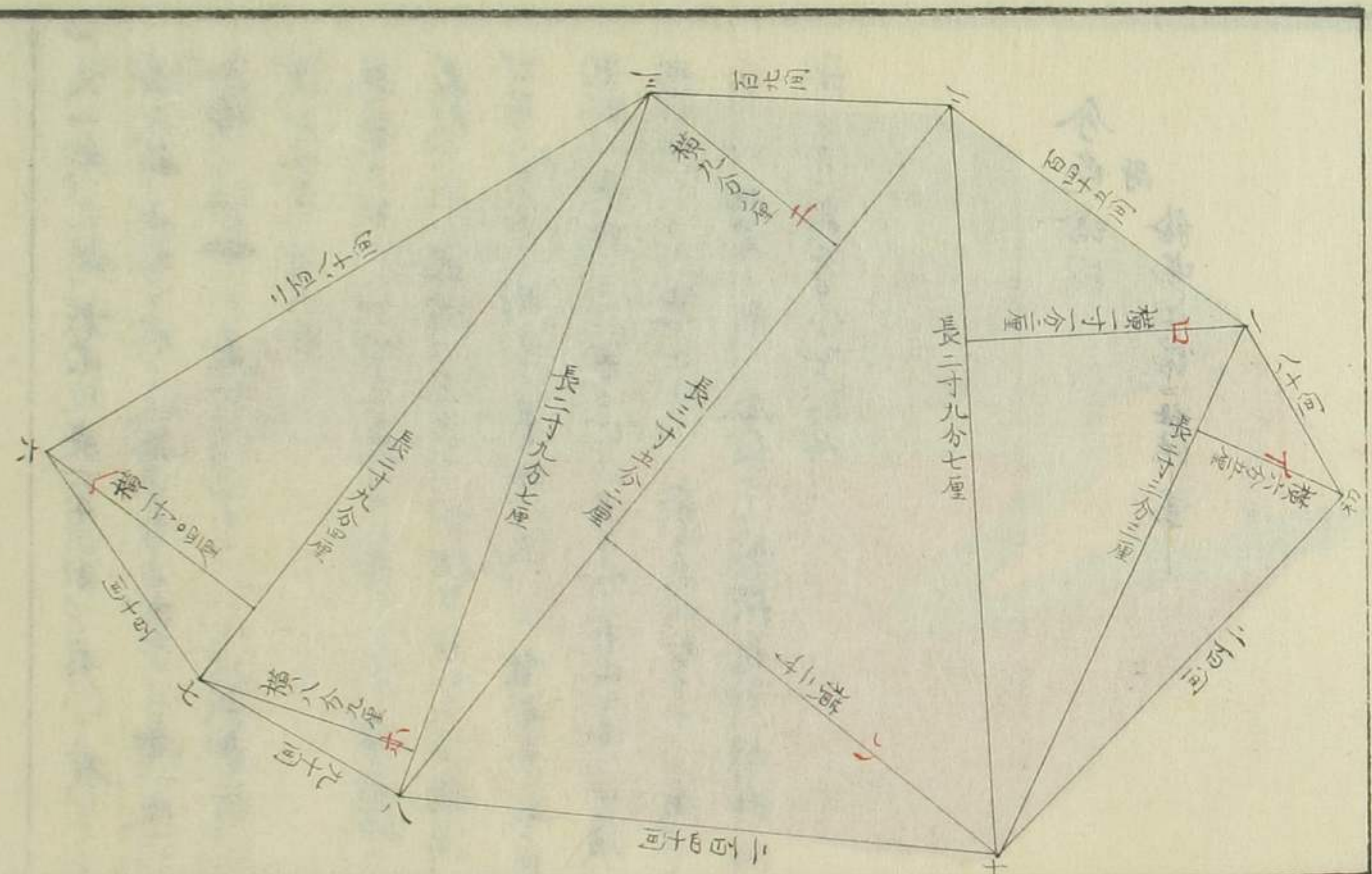
五万二千六百六拾歩

五万二千六百六拾歩

五万二千六百六拾歩

合拾万二千六百六拾歩

平野の如く各表西南山の勾足を用ひて歩数とする  
 此五百拾歩の是なり













第引の流馬は其分より西郷寺より舟の流馬の  
由り重く引何れも其流する言の流て後引  
其書と馬を元馬の筋て引舟の道取の流馬は其  
又少く引何れも其流する言の流て

地方元戒録附録





